

# 夢咲楽

～和輪話通信～

親子で  
学ぼう

## ICT プログラミングに挑戦!

## を実施しました!

LET'S  
TRY!



親子ICT講座:ネット利用について学びました

青少年センターでは、小学校1～4年生の親子47組を対象に、ICTについての講座とプログラミング体験を実施しました。

親子でスマホの使い方について考えたり、スクラッチを利用したプログラミングを体験したりして楽しく学ぶことができました。



自分でつくったプログラムを発表しました



スクラッチを使ったプログラミング体験を行いました

「わわわ隊」とは「(和)やかに(輪)になって(話)そう。」という、青少年センター少年育成サポーターのみなさんの思いから、「わわわ隊」という愛称がつけられました。





子どもが心身ともに健やかに育つために、食事はとても大切です。「食育」という言葉があるように、食事の環境を整えること、食への関心や知識を持つこと、楽しく家族で食事することなども、子どもの健やかな成長には必要です。

## 家族で食事することの大切さ



近年は、核家族の増加や生活スタイルの多様化で「孤食」<sup>こしょく</sup>をする子どもが増加しているそうです。

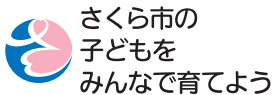
孤食は、栄養の偏り<sup>かたよ</sup>、食べ物の好き嫌いなどが起こりやすく、肥満や偏食<sup>ひまん へんしょく</sup>の原因になるといわれています。子どもにとって、食事は必要な栄養を摂るためだけに必要なものではありません。家族や大人数で食事をする<sup>と</sup>こと自体が、子どもにとって大切な経験のひとつです。

たとえば、家族で食事をする<sup>と</sup>と、家族での会話を楽しむことができ、子どもの気持ちが安定しやすいといわれています。また、食べることへの関心を高めたり、食事のマナーを学ぶ機会にもなります。子どもにとっての食事は、単に必要な栄養を得るためではなく、家族のコミュニケーションや生活習慣の形成のためにも重要なのです。

- ・ 食事への関心が高まる
- ・ 家族での会話ができる
- ・ 食事マナーを学べる
- ・ 規則正しい食習慣が身につく など



共働きの家庭では夕食などは時間が合わず、家族でゆっくり食事をする<sup>と</sup>ことは難しいかもしれません。そんな場合は、朝食の時間や休日を利用し、家族団らんで食事する機会や家族の会話の時間をつくってみてください。(参照) 農林水産省 みんなと楽しく食べること



ゆめさくら わわわつうしん  
夢咲楽～和輪話通信～ 第47号  
発行日 令和4年9月18日

発行 さくら市青少年センター(事務局 生涯学習課)  
〒329-1492 栃木県さくら市喜連川4420-1  
電話 028-686-6621 FAX 028-686-5368  
電子メール syogaigakusyuu@city.tochigi-sakura.lg.jp  
市ホームページ <http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp>